

平成24年11月13日

文学部学生と教員との懇談会概要

1. 日 時 平成24年10月17日(水) 12時10分から12時56分まで

2. 場 所 法経学部第一会議室

3. 出席者 学生：15名

学部：19名

山田学部長、神戸学生委員長、水上学生委員会(教員学生懇談会担当)、土田留学生委員長、高留学生委員、大峰留学生委員、上村史学科学科長、柴日本文化学科長、梶田国際言語文化科学科長、菅野広報委員

鈴木文学・法経学部事務長、酒井学部学務グループ専門員、久保学部学務グループ係員

本部：5名

長澤(教育担当)理事、佐藤図書館学術コンテンツ課長、堀切教務課副課長、塚瀬教務課副課長、増田学生支援課副課長

4. 概 要 学部長からの挨拶の後、進行は水上学生委員が行った。

学生からの意見、要望は次のとおり。

Q 文学部他学科開講の授業を受講した際、「気まずい」感じがするので、学科間の関係を広げて、そうした印象を持つことがないようにしてほしい。(行動科学科2年留学生)

A 文学部では制度として、カリキュラムの中に共通科目を設定している。共通科目は、学科間の交流を促進するために設定した制度なので、教員の側も発言者の問題意識を共有していることを理解してほしい。こうした制度をぜひ活用してほしいし、教員にもこの制度の趣旨は理解されているものと思う。(学部長)

A 私の授業に他学科の学生が受講している。授業の前に何を指導してほしいのかなどもっと積極的に受講してほしい。(史学科学科長)

Q 学生寮に入寮できなかった場合、現在は1年生だけを対象として1万円の支援を受けられるが、学生の枠を拡大して、2年次以降も民間アパートに入居した場合でも支援を受けられるようにしてほしい。

Q 民間アパートに入居した場合でも、世帯主名が留学生の名前でない場合には支援の対象にならない。同様のケースでも支援対象にしてほしい。

A 全学的な問題でもあるので、事実関係を調査したうえ、有効な運用方法の検討を本部に要望する。(学部長)

※現行のルール(千葉大学ホームページにある「私費外国人留学生生活支援奨学金(家賃補助)について」を参照)において定められた支給要件に従って対応したい。(留学生課)

Q 体育館の設備を休み時間などで利用させて欲しい。

(行動科学科2年留学生)

A 体育館の使用は原則、授業、サークル活動だけに限っているので、それ以外は使用できないことになっているが、学生支援課で検討をする。(学生支援課)

Q 留学生の卒業要件である日本語科目に算入できる教養展開科目の単位数を増やして欲しい。

(国際言語文化学科2年留学生)

A 学部内において問題を調べて検討する。(学部長)

※卒業単位の履修にあたっては、入学年度の「文学部履修案内」に定められているルールを踏まえることが大原則である。従って、現行のルールに従って、日本語科目の単位を修得してほしい。日本語科目は、レベル順に開設されており、ディスカッションやプレゼンテーション等のスキルを磨けるような、レベルの高い日本語科目も存在する。「日本語科目」の修得に苦勞されていることは察するが、それらの日本語科目を受講することで、日本語能力のさらなる涵養を図ってほしい。(文学部教務委員会)

Q 禁帯出になっている図書を貸出して欲しい。(行動科学科2年)

A 個人のコレクションの可能性はある。他に換えられない資料の場合など、貸出しできない理由があつて禁帯出になっている。(図書館学術コンテンツ課)

Q 千葉県立図書館など外部から貸出しされた図書を貸出して欲しい。(行動科学科2年)

A 他の図書館などからの貸出し図書については、貸出してもらった機関との信頼関係もあり、貸出制限をしている。(図書館学術コンテンツ課)

Q 図書館の蔵書数を増やして欲しい。(行動科学科2年)

A ぜひ希望図書を出して欲しい。予算の半分しか使っていない。

(図書館学術コンテンツ課)

Q ライフセンター館2Fが閉まっている。具体的にいつオープンするのか掲示等で教えて欲しい。

(史学科2年)

A 厚生施設全般にわたり、工事が来年の3月までに終了することになるため、今の段階で具体的な日程については答えられない。(理事)

Q 文学部棟から図書館に入る出入口を新たに作って欲しい。(史学科2年)

A 出入口を作ることはむりである。(学部長)

Q 日本古代史、日本中世史を担当する先生を早く決めて欲しい。(史学科2年)

A 現在公募をかけており、人事選考をしている段階で、来年度には決まることになる。
(学部長)

Q 稲毛寮の耐震工事を早くして欲しい。(史学科2年)

A 現状を視察して来たが、ひどい状態になっている。工事の検討を進めていかなければならない。
(理事)

Q 授業の休講連絡を掲示だけではなく、ホームページでも知らせて欲しい。また、成績開示の期間を現在より1週間早めて欲しい。(史学科2年)

A 休講通知については、原則掲示板による周知を行っているが、インターネットによる休講通知も行っている。利用方法については、文学部履修案内に記載してある。
(学部学務グループ)

A 先生方の成績提出が完了し、学部学務グループでチェックを済ませた後でなければ学生に通知することができないので、どうしても時間がかかってしまう。(学部学務グループ係員)

Q 「学生との懇談会」で検討した結果が分かるようにレスポンスして欲しい。(史学科2年)

A 「学生との懇談会」の結果については、毎回文学部ホームページで掲載しているが、案件によっては調査結果に時間を要するもの、対応できるものとできないものもある。
(学部長)

Q ジャパンナレッジのログイン数を増やして欲しい。(日本文化学科3年)

A ログイン状況を調べた限りでは、時間帯によって集中することはあるが、現在のログイン数が少なすぎるとはいえない。(図書館)

Q 図書館L棟2Fの利用方法を改善して欲しい。(日本文化学科3年)

A もともと施設の利用形態によりすみ分けをしている。理解して欲しい。
(図書館)

Q 図書館に傘立て、ロッカーを設置しゴミ箱を増やして欲しい。(日本文化学科3年)

A 具体的な対応を行うのは全体的利用状況を考えると難しい面がある。
(図書館)

Q 図書館の外壁がガラス張になっているので耐震補強が必要なのではないか。

(日本文化学科3年)

A 耐震構造を考えて設計されている。(図書館)

Q 英語ネイティブスピーカーの後任を早く呼んで欲しい。(国際言語文化学科3年)

A 後任を人事選考している。(学部長)

Q 文学部棟のリフレッシュルームを使用しているが、イスの設置間隔が狭く座席数がたりない。
また、照明が時間になると消えてしまうので改善して欲しい。(国際言語文化学科3年生)

A 照明については、タイマーの変更ができるかどうか、関係部署に確認をする。(学部長)

※設定の変更は困難である。長時間の学習や談話等に当たっては、図書館や学科・講座の資料室等を利用してほしい。